




# 防災分野

## 研究領域

### 「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

|   |  |               |   |
|---|--|---------------|---|
| 採択年度  | 2023年                                  | 研究期間          | 5年間   |
| 研究課題名   | 北中米太平洋沿岸部における巨大地震・津波複合災害リスク軽減に向けた総合的研究 | 貢献する主なSDGs    |    |
| 研究代表機関  | 京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター                  |               |   |
| 相手国   | エルサルバドル共和国<br>メキシコ合衆国                  | 主要相手国<br>研究機関 | エルサルバドル国立大学<br>メキシコ国立自治大学   |
| 研究課題の概要   |  |               |   |
| <p>本研究は、エルサルバドルおよびメキシコ太平洋岸の国際港湾都市を対象に、地震観測と地震・津波複合災害リスク評価※に基づいたリスク軽減策を提案・実装することを目的とする。まずは、中米海溝を対象とした海底・陸上・測地観測結果から地震シナリオを作成し、強震動モデリングと津波浸水シミュレーションにより、国際港湾都市の直接被害の推定を行う。これに基づき地震・津波による危険物の流出・火災拡大シミュレーション、化学物質の流出シミュレーション、サプライチェーンの被害と経済影響評価を行う。さらに、リスク軽減のための工学的対策と効果的な津波避難を提案し、各関係機関・住民とコミュニケーションを取りながら社会実装を図る。こうしてリスク軽減を行うことにより、国際港湾都市の持続的発展への貢献を目指す。</p> <p>※ここでの複合災害とは、津波火災、化学物質の流出と津波による拡散、サプライチェーンを介した地域的・地球規模的経済被害を含む。</p> |  |               |   |